

3分でわかる

動画撮影を始めるための 必要な全てを解説



何から始めていいかわからない！

フォトグラファーだけど
動画撮影は未知なあなたへ



女性スチルフォトグラファーのスキルアップを応援



日本ママアカデミー協会



【プロ直伝】 動画撮影に必要な機材リスト

1 カメラやその関連の基本的な機材

◆ カメラ機材 動画を撮影できる機材の特徴をまずおさえましょう

一般家庭用ビデオカメラ

撮影し編集するだけが目的なら十分使用できるセンサーサイズはフルサイズに比べ1/30程度。背景のボケ感などの表現は弱い画質は綺麗



一眼レフ・ミラーレス

画作りこだわった撮影ができる1番手軽な撮影機材。レンズの特性を活かした映像には圧倒的なインパクトがあります。最近では動画撮影でも使う前提で設計された機種が増え動画中AFも機敏に動きます。

レンズは何がおすすめ？

単焦点レンズとズームレンズ、どちらも撮影に使用することができます。動画撮影では1つのシーンで様々なカットが必要となるためズームレンズの方が機動性が良く初めて動画撮影を始めるのであれば標準ズームレンズから使用するのがオススメです。

スマートフォン

一眼レフなどと比較すると動画の表現の幅が制限されますが、機動性の良さがやはりスマホの1番の魅力です。SNS投稿用などカジュアルな動画、広角レンズを活かした旅行などのVlogなどにもよく使用されます



おすすめは
動画撮影にも力を入れたミラーレス機種



◆ マイク 内蔵マイクでは遠くの音が拾えなかったり風音や雑音が入ることも。動画撮影では外部マイクの用意があるとよりいいでしょう

ピンマイク

有線、ワイヤレス、レコーダー内蔵型などがあります。個々の声をしっかり撮るのに向いています。服などで擦れる音などに注意が必要です。インタビューや主役の会話をしっかり撮りたい作品などに使用します。



ショットガンマイク

向けられた方向に対し強く音を拾います。また周囲の音も同時に拾うため複数人数を屋外で撮影するときを使用することが多いです。長ければ長いほど指向性という狭い範囲の方向に対しての集音効果が強くなります。





【プロ直伝】 動画撮影に必要な機材リスト

2 画作りやカメラワークをサポートする機材

◆ 画角をサポートする機材

三脚

手ブレを抑え画面を見やすくするものの1つに三脚があります。三脚は固定式なので撮りながら動くというのには向きません。長いシーンを同じ位置で撮影する用途に向いています。動画撮影に適した三脚・雲台の販売があります。



スライダー

カメラスライダーとは、映像撮影やテレビ番組などでカメラを水平に移動させるために使われる動画撮影用のアクセサリーです。タイプは「手動式」と「電動式」の2種類あります。



ジンバル

滑らかにいい手持ち撮影をしたいのであれば「ジンバル」が最適です。

ジンバルは、カメラに加わる手ブレを回転運動で相殺します。

ジンバルは手ぶれを少なくするだけでなく、滑らかなアングル移動や手持ちではできないようなカメラの回転を実現できます。一眼レフ用ジンバルは重みも相当あります。スマホ用やもっとコンパクトなジンバルもあります。



◆ 照明機材

LEDライト

写真撮影ではストロボが撮影照明として一般的ですが、動画では瞬間光はつがえません。定常光として撮影用LEDライトなどが主流となっています。色温度が調整可能なLED照明もあり、カメラに取り付けるタイプや手に持つタイプなどがあります。



◆ 予備バッテリーやメモリーカードも見直しを！

動画撮影ではメモリもバッテリーも激しく消耗します

動画画質は現状FHD(フルハイビジョン)程度あれば十分とされていますが、それでも動画撮影には書き込み速度が重要になるため書き込みスピードの速いメモリーカードをお持ちでない方は用意が必要になります。またバッテリーも消耗するので予備バッテリーの用意も検討してみましょう。



【プロ直伝】 動画撮影に必要な機材リスト

3 動画素材を何で編集する？

- ◆ **動画編集ソフト** PCのメモリ容量などがある程度必要になってきます。
動画編集をするためにはPCスペックを一度チェックしましょう！

Adobe Premiere Pro (アドビプレミアプロ)



本格プロ仕様の動画編集ソフト。特に他の自社アプリとの連携が強力な動画編集ソフトです。Premiere Proプレミアプロ 単体でも十分な動画編集ソフトですが、Adobe Creative Cloudアドビクリエイティブクラウド というサービスのコンプリートプランを利用することで、10数種類の制作アプリを使うことが出来ます。

EDIUS Pro (エディウス プロ)



ウェディングや簡単な広告作成ではプロの現場でもよく使われる編集ソフト。様々な形式の動画素材でも素早く編集作業を行える事が特徴で、DVDやBlu-rayに直接ライティングもできる便利な編集ソフト。色の調整など、専門分野には少し力不足を感じるが、基本的な編集機能はすべて網羅しています。



Final Cut Pro (ファイナルカットプロ)



Apple社開発のプロ仕様動画編集ソフト。アップルが開発しているので、Macとの相性が抜群です。ソフトウェアとしての安定感も抜群です。ほかの動画編集ソフトより動作が安定している印象があります。1,000以上の音楽・効果音素材が内蔵されていて、効果音などの素材をネットで探す手間も省けます。

DaVinci Resolve (ダビンチリゾルブ)



Blackmagic Design社が提供している高機能編集ソフトで、主に広告や映画など、プロダクションで使用されている事が多い。特にカラーグレーディング（色の調整・加工）に優れ、ノイズリダクションや肌補正機能など、高額なプラグインを導入しなくともかなり優れた加工が可能。少し、操作方法が難しいイメージがあるが、エフェクトなどの使用が限られた無償版も提供されており、一部のクリエイターからは根強い人気がある編集ソフト。Blackmagic Design社が販売する高額なカメラには有償版のライセンスがセットで販売されていることも多いです。

どれもファミリームービーの作成としては要件をみたましますが、初期費用を抑えるという意味ではAdobeのサブスクが使えるPremiereProがオススメです。機能面のバランスや、多くフォトグラファーがすでにLightroomやPhotoshopを使用している点も踏まえ、ママアカのファミリーフォトコースではPremiereProを学習し編集作業を身につけていただくカリキュラムになっています。



【プロ直伝】 動画撮影に必要な機材リスト



4 動画制作ならBGMも忘れずに！

◆ 音源こそ注意 動画制作におけるBGMの著作権の注意ポイント

音楽著作権

BGMに使用する音楽には著作権がありますので、勝手な使用でトラブルを起こさないよう気をつけましょう。使用したい音源がある場合その著作権を管理する団体などに問い合わせが必要です。

著作権フリーBGM配布サイトの利用

著作権フリーのBGM配布サイトもたくさんありますので、まずは著作権フリーの音源を使用してみましょう。ただし、商用利用においてはルールが設けられている場合があるため、必ずチェックしておきましょう！

※無料の音楽配信サイトも無数にあるが、質・量・使用許諾範囲に注意が必要
クレジットの記載が義務付けられたり、商用利用不可の可能性も高いです。

◆ おすすめサイト

Artist

現在一番ポピュラーな著作権・ロイヤリティフリーの音楽配信サイト。

年間2万円程度からの金額で利用できます。

質の良いBGMが利用でき、ファミリームービーではまず困ることがない

契約中にダウンロードしたものは解約後も使用できるという記載も多いが、現在は解約後は使用できないルールとなっています。

MUSICBED

月額1,000円程度から利用可能

こちらも良質なBGMが揃っており、費用も比較的安価。使いたい曲が多くあるようなら

Artistよりも価格面でメリットがあります。

Nash Music Library

完全日本語対応の配信サービスで、良質な

BGMが1曲2,000円程度から単品購入が可能

で日本語歌詞の楽曲が多いのも特徴です。

ArtistやMUSICBEDを契約すれば、とりあえず問題ないですが、すぐに利益をあげれない場合、費用としてはもったいない印象をうけるかもしれません。

まずは無料の音楽配信サイトで良いBGMを探るか、Nash Music Libraryなどの単品販売

(※単品販売でファミリームービーに使えるようなBGMだと1曲2000円ぐらいが相場です)

で数曲購入しサンプル利用できる作品を作って、軌道に乗り出したらArtistやMUSICBEDを契約するというのも良いと思います。

どんなBGMであれ、もともとの動画の雰囲気と合わなければ意味がありません。だからこそ、まずは視聴してどのようなイメージを思い浮かべるのかチェックしてみましょう。





女性フォトグラファーが 動画始めるなら

◆ 女性フォトグラファーは動画制作に有利！

1 から動画撮影と編集を学ぶにはカメラの使用方法や画作りから身に付けなければなりません。その点、すでにスチルカメラでカメラ機材を持ち操作に慣れている女性フォトグラファーの皆様は動画制作に1歩リードしています！

とはいえ、静止画表現と動画表現では全く違う世界です。

動きある映像×あなたの表現×音

あなたは動画スキルを何に掛け合わせますか？

ママアカスクールのファミリームービーコースでは、家族写真撮影を主に行なっている女性フォトグラファーの皆様が動画表現でお客様家族に新しい喜びをお届けできる講座を用意しています。

◆ ファミリームービーコースとは

女性フォトグラファーとファミリーフォトコース卒業生専用動画撮影&編集講座です。オンラインで全国から参加可能、コース終了までに1本動画作品が制作できます。

◆年3回募集 (1月スタート、5月スタート、9月スタート)



◆ ファミリームービー1day体験講座も定期開催！

